

男鹿市規則第 1 5 号

男鹿市都市公園の設置に関する条例施行規則の一部を改正する規則

男鹿市都市公園の設置に関する条例施行規則（平成 2 5 年男鹿市規則第 5 号）の一部を次のように改正する。

改正後	改正前
<p>（園路及び広場）</p> <p>第 3 条 不特定かつ多数の者が利用し、又は主として高齢者、障害者等が利用する高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律施行令（平成18年政令第379号。以下「令」という。）第 3 条第 1 号に規定する園路及び広場を設ける場合においては、そのうち一以上の園路及び広場は、次に掲げる基準に適合するものでなければならない。</p> <p>(1)～(5) （略）</p> <p>(6) 高齢者、障害者等が転落するおそれのある場所には、柵、令第11条第 2 号に規定する点状ブロック等及び令第22条第 2 項第 1 号に規定する線状ブロック等を適切に組み合わせて敷設したもの（以下「視覚障害者誘導用ブロック」という。）その他の高齢者、障害者等の転落を防止するための設備を設けること。</p> <p>(7) （略）</p>	<p>（園路及び広場）</p> <p>第 3 条 不特定かつ多数の者が利用し、又は主として高齢者、障害者等が利用する高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律施行令（平成18年政令第379号。以下「令」という。）第 3 条第 1 号に規定する園路及び広場を設ける場合においては、そのうち一以上の園路及び広場は、次に掲げる基準に適合するものでなければならない。</p> <p>(1)～(5) （略）</p> <p>(6) 高齢者、障害者等が転落するおそれのある場所には、柵、令第11条第 2 号に規定する点状ブロック等及び令第21条第 2 項第 1 号に規定する線状ブロック等を適切に組み合わせて敷設したもの（以下「視覚障害者誘導用ブロック」という。）その他の高齢者、障害者等の転落を防止するための設備を設けること。</p> <p>(7) （略）</p>
<p>備考 改正箇所は、下線が引かれた部分である。</p>	

附 則

この規則は、公布の日から施行する。